

家庭分野 改訂のポイント

- ① 指導経験の少ない先生にも使いやすくなるよう教師用には指導上参考となるポイントなどを絞り込み掲載しています。
- ② 「生活の営みに関わる見方・考え方」に触れながら1学年の学習をスタートできます。
- ③ 「高齢者との関わり」、「蒸し調理」、「自分らしい着方」、「災害に備えた住まい」の資料を新しく掲載しました。
- ④ 見開き2ページで学習が完結するように紙面を構成、また、ページごとにねらいを表示することで、生徒が目的をもって主体的に取り組み、学びが深まるようにしました。
- ⑤ 「振り返り」は枠のみとし、生徒がその時間を振り返りまとめやすいようにしました。

ガイダンス

- ・「生活の営みに関わる見方・考え方」の例を示し、家庭生活の事象を4つの視点でわかりやすく示しています。
- ・生活の中から問題をみつけ、課題を設定し解決方法を検討し、実践・評価・改善する一連の学習過程について取り上げています。

A 家族・家庭生活

- ・「高齢者」など地域の人々との協働、介助などの体験を取り上げ、生徒が実感をもって、高齢者への理解を深められるようにしました。
- ・幼児の発達や生活の特徴から、幼児に応じた関わり方や遊びが育てる力について考えることができます。
- ・協力・協働の視点から家族や地域の人々とのかわりについてまとめることができます。

B 衣食住の生活

① 食生活

- ・調理実習カードを一新し、さらに使いやすくしました。また、Web ページからダウンロードしてタブレット端末で編集することもできます。
- ・野菜の調理に含めて、蒸し調理の資料を掲載しました。
- ・長野県の食文化について調べたり、まとめたりすることができます。

① 衣生活

- ・衣服と社会生活との関わりについてまとめ、繊維の種類や性質、衣服の特徴についてもまとめることができます。
- ・衣服の様々な情報をもとに、自分らしい着方を考えることができるようになっていきます。
- ・布を使った製作の実践では、自己評価の観点を設け、毎時間の取り組みを具体的に評価できるようになっています。

② 住生活

- ・自分の住んでいる地域の自然災害を調べたり、災害時に必要なものを確認したりしながら自然災害への備えを考えられるようにしました。
- ・持続可能な住生活を目指して住生活の工夫を考えられるようになっています。

C 消費生活・環境

- ・計画的な金銭管理の必要性や売買契約の仕組み、クレジットカードによる三者間契約など消費生活の内容を充実させました。
- ・消費者の権利と責任について確認できるようになっています。
- ・持続可能な消費生活を目指し、SDGsの目標から自分にどんな取り組みができるかをまとめることができます。

家庭分野の学習を終えて

- ・「生活の営みに関わる見方・考え方」に戻って自分の生活を振り返り、これからの生活について考えをまとめることができます。
- ・3年間の学びを振り返り、今の自分の課題を意識させて、今後の生活へと繋げていくことができます。
- ・発展的な学習として「My 人生すごろく」では、人生で起こるライフイベントを考え、自分の人生設計(ライフプラン)を立てることができます。



これが新「家庭分野の学習ノート」だ!!

◇見開き2ページで学習が完結するよう紙面を構成しています。

ページごとねらいを示し、子どもたちが目的をもって主体的に取り組み、学びが深まるようにしました。

A 家族・家庭生活 P.238・239 P.42・43 P.58・59 月 日

12 幼児との関わり方

ねらい

- 幼児の疑似体験を通して、幼児との関わり方を考えよう。
- 幼児の発達や生活の特徴を踏まえ、幼児に応じた関わり方を考えられるようにする。

考えてみよう 次のような場面で、どのような言葉かけや行動をすればよいか考えてみよう。

場面①：()歳の子どもが おもちゃの取り合いでけんかになったら…

場面②：()歳の子どもが 遊びに入れず1人でいたら…

確認しよう 幼児と関わる時のポイントを下の語群から選んで確認してみよう。

話す時	一言ひとことを、(ア ゆっくり) はっきりと話す。
声の大きさ	・(イ 分かりやすい) 言葉を選んで話す。 ・驚いてしまうので(ウ 大声) は出さない。 ・「なるほど」「おもしろいね」など(エ 相づち) を打ちながら丁寧に聞く。
動作・顔の表情	・豊かな表情や(オ 身振り手振り) をつける。 ・幼児の気持ちや(カ ペース) を大事にして関わる。
姿勢	・幼児と(キ 目線の高さ) を合わせて話す。 そのために、(ク 低い) 姿勢を心がける。

大声 分かりやすい 相づち ゆっくり 低い 身振り手振り ペース 目線の高さ

振り返り

「振り返り」は枠のみとし、子どもたちがその時間を振り返ってまとめやすいようにしました。

このマークのあるページでは、学習資料のWeb ページ閲覧やワークシートのダウンロードが生徒用端末からも可能です。

教師用にはその時間に生徒につける力を明記しています。また、各教科書に対応してページを示しています。

漢字にふりがなをつけたり、語群欄を設けたりするなどして、自主学习でも取り組めるように配慮しました。

教師用には指導上参考となるポイントなどを絞り込み掲載しています。

妊婦体験セットを利用した妊婦体験が考えられます。ない場合は登山用リュックなどに、8～10kgの重さになるように工夫して体験させてもよいでしょう。

新生児平均体重3,000gになるように、砂糖や塩を代用して人形を作り、重さを体験する活動も考えられます。(新生児人形がある場合、抱っこを体験するのもいいでしょう。)

※リンク：住生活
「住まいの安全と家庭内事故」

東京書籍は幼児の視覚体験（チャイルドビジョン）収録が付いています。ない場合はインターネットで検索すると各種ホームページで台紙をダウンロードすることができます。

幼児の背の高さに目線を合わせて、幼児の視覚体験環境を使い室内を移

きき手と反対の手で、スプーンや箸を使ってみよう。

おなかがいっぱいであることを、言葉を使わずに伝えてみよう。



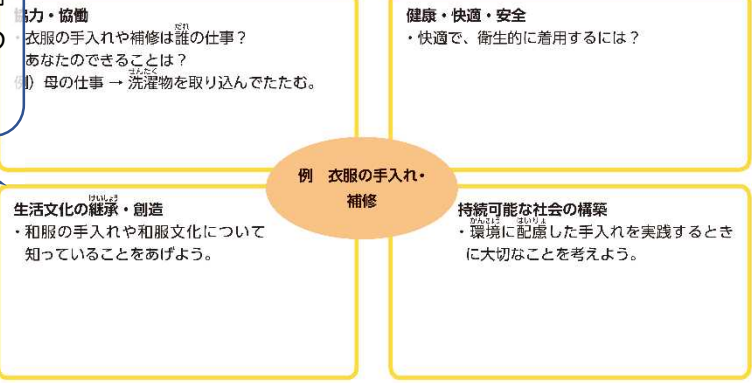
◇ガイダンス

家庭分野の見方・考え方

考えてみよう

次の4つの視点から、見たり考えたりしてよりよい生活を作っていこう。

「生活の営みに関わる見方・考え方」の例を示し、家庭生活の事象を4つの視点で示しました。



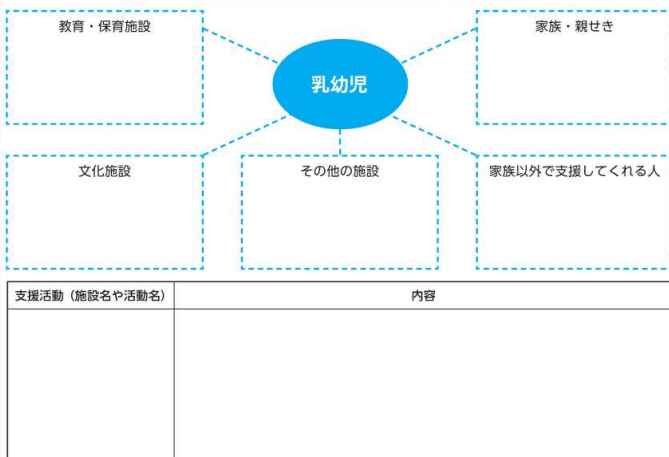
学習の進め方

- ① 課題発見：生活を振り返り、「よりよくしたいこと」「問題だと思うこと」を見つける。
- ② 計画：課題を解決するための計画を立てる。
- ③ 実践：計画に沿って実践する。
- ④ 評価・改善：よくできた点、改善すべき点、課題の解決につながったか確認する。
- ⑤ 家庭・地域での実践

A 家族・家庭生活

調べてみよう

あなたの住んでいる地域で子育てを助けてくれる人や施設、取り組みを調べてみよう。



協力・協働の視点から家族や地域の人々とのかかわりについてまとめることができます。

考えてみよう

地域の人とどのくらい関わっているか考えてみよう。

あなたの地域にはどんな人が住んでいますか？ また、その人たちとあなたはどのくらい関わっていますか？ 地域との関わりについてチェックしてみよう。

項目	○(よくする) △(時々) ×(しない)
1 地域の人に挨拶をする。	
2 近所や地域の大人とよく会話する。	
3 近所や地域の子ども（小学生や幼児）とよく会話する。	
4 近所の家を訪問する。(○今も訪問する △子どもの頃はした ×しない)	
5 地域の行事（子ども会の行事や祭り）に参加をする。	
6 地域の施設（公民館や集会所）などを利用する。	
7 地域の作業（草取りや清掃作業など）に参加する。	
8 近所の人に「してもらって嬉しかったこと」「してあげて喜ばれたこと」を具体的に書きましよう。	

New!!

「高齢者との関わり」について新しく加え、学習指導要領に対応させました。

やってみよう

幼児の生活と自分の生活を比べて、気づいたことを書いてみよう。

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24時
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24時

気づいたこと

考えてみよう1

私たちは幼児頃どんな遊びをしていたのだろう。

家の中で

家の中で

考えてみよう2

遊びでどのような力が育つのか考えてみよう。

○次の遊びでどのような力が身に付くか、表を見て身に付く力に○をつけてみよう。

	運動能力	ことば	社会性	創造力	表現力	手先の器用さ	集中力
積み木							
砂遊び							
おもちゃご							
絵本							

A 家族・家庭生活

6 高齢者との関わり

高齢者疑似体験をしてみよう。

- あなたは、「高齢者」についてどのような印象を持っていますか？ 私たちの周りにはそれまでの経験や知識を活かして、元気に働いている人やボランティア活動などで、地域の中で活躍している人がいる一方、車椅子や杖を使って生活するなど手助けが必要な人もいます。高齢者の身体の特徴を理解するため、疑似体験をして感じたことを書きましよう。
- 高齢者の身体の特徴をまとめよう。
目（ ）が低下する。 耳（ ）にくくなる。
骨（ ）がやぶくなる。 筋肉（ ）が衰え、足腰が弱くなる。
- ペアになって介助体験をして「介助者（介助する人）」と「高齢者（介助される人）」の気持ちを表にまとめよう。

	介助しているときに感じたこと	介助されているときに感じたこと
立ち上がりの介助		
歩行の介助		
声かけ		

B 衣食住の生活 <食生活>

12 衣食住の生活

蒸し調理に挑戦しよう

「蒸す」とは？… 蒸気を使って材料を加熱する調理方法

蒸し調理に挑戦しよう

蒸し器の使い方

- 下段に7割ほどの水を入れ沸騰させる。
- 蒸気が小た。一度火を止めて加熱する食材を入れた上、湯量を確認する。
- 蒸気が強いので注意する。
- 大きめのふきんで蒸気を吸って取る。
- 蒸気が出るように火加減を調整して取る。
- 蒸し終わったら、蒸気が冷めないうちに蒸気をつけて蓋を開ける。

蒸しパン

材料 (4人分)

- 小麦粉 (強力粉) 100g
- 砂糖 40g
- ベーキングパウダー 4g
- 卵 1個
- サラダ油 大さじ1
- 牛乳 70mL

作り方

- 小麦粉とベーキングパウダーを合わせてふるふる。
- 卵、砂糖、牛乳、サラダ油を入れて混ぜる。
- カップに8分目まで流し入れ、焼きで12分焼く。
- レーズン、さつまいもを入れてとアレンジも楽しめる。切干椎茸やアレルギーのためには、卵、牛乳を入らずで作るとよいでしょう。

蒸し料理についてまとめよう。

の土地ならではの(ア)や(イ)で作られ、地域の伝統として受け継がれてきた料理を(ウ)という。また、七五三などの人生の(エ)や(オ)の料理のように毎日の行事のため伝統として受け継がれてきた食事を(カ)という。

行事食 食材 郷土料理 節日 調理法

調べてみよう1 あなたが興味のある、食べてみたい全国の郷土料理を書いてみよう。

都道府県	郷土料理

調べてみよう2 日本の行事食を調べてみよう。

行事食	行事食	行事食	行事食

New!! 「蒸し調理」の資料を新しく加えました。

New!! 長野県の食文化について調べて、まとめることができます。

13 衣食住の生活

地域の食文化

確認しよう1 長野県にどんな郷土料理があるだろうか。

郷土料理を自由に書き込んでみよう。

全県 そば
北信地方 おひき やしろう
中信地方 わさび すんざき
東信地方 煮付 くるみおぼろ
南信地方 寒天 五平餅 ほうば焼き

確認しよう2 郷土料理・行事食についてまとめよう。

の土地ならではの(ア)や(イ)で作られ、地域の伝統として受け継がれてきた料理を(ウ)という。また、七五三などの人生の(エ)や(オ)の料理のように毎日の行事のため伝統として受け継がれてきた食事を(カ)という。

行事食 食材 郷土料理 節日 調理法

調べてみよう1 あなたが興味のある、食べてみたい全国の郷土料理を書いてみよう。

都道府県	郷土料理

調べてみよう2 日本の行事食を調べてみよう。

行事食	行事食	行事食	行事食

調理実習カードをリニューアルし、さらに使いやすいものにしました。また、よりよい食生活を目指し、SDGsの目標と関連させて自分ができることを考えさせる学習もできます。

<衣生活>

やってみよう 自分らしい着方を考えよう。(イラストに色を塗るなどデザインを工夫させる。)

どこに行く服装か ()
コーディネートのポイント

・出かける場所などを考え、アイデアを考えさせる。また、意見交換の時間を設けたり、友達からのアドバイスをもつたりできるようにしよう。

友達のコーディネートポイントを聞いてみよう。(参考になったこと、友達の感想なども記入させるとよい。)

調べてみよう 衣服についての表示を書き出し、読み取れたことを記入しよう。

(制限、運動着) の表示	(取り扱い) 表示に書かれていること	その他に書かれていること
<ul style="list-style-type: none"> 40 洗濯機 アイロン 	<ul style="list-style-type: none"> どんなことが読み取れましたか? (例) 40℃を限度として、洗濯ができる アイロンは中温でかける あて布をする 日かげのつり干しがよい 	<ul style="list-style-type: none"> 組成表示 原産国表示 その他の表示

「取り扱い表示」は2014年に国際規格との整合性が図られ、新しく「取り扱い表示」としてJISL0001が制定された。当分の間はJISL0217とJISL0001の両方を扱っておきたい。

New!! 衣服の購入や自分らしい着方を考えさせることができます。

布を使った製作の実践では、評価の観点を設け、毎時間の取り組みを具体的に評価できるようにしました。ワークシートはWebからダウンロードし、編集して使うこともできます。

4 衣食住の生活

布を使った製作の実践

生活豊かにするために、布を使って製作に挑戦してみよう。

製作する作品 例) トートバッグ

氏名 _____ 年組 _____ 番 _____

使用目的・使用場面 例) たくさん教科書が入れられるようにしたい。
 ・部活の道具を入れたい。
 ・習いごとの道具を入れたい。
 ・中にポケットをつけて、細かいものを入れられるようにしたい。

製作の目標 例) 丈夫な袋を作る。(待つところ、脇、底など)
 ・マシの縫を太くしてたくさん入れる袋にする。
 ・イメージ通りの袋に仕上げたい。
 ・正確に縫えるようにする。

時間数	月/日	製作の手順(計画)	実際の作業内容	自己評価	全体を通しての感想・次回目標
1		①デザイン、目標を考える。	・デザイン、目標を決めた。	計画通りに進めた	・使うところを考えてデザインや目標を定めることができた。
2		②しるしつけ	・しるしつけ	用具を正確に使えた	・正確に長さを計って線を引き、見本と同じように線を引きることができた。
3		③裁断	・裁断	安全に作業ができた	・はさみを安全に使い、布を切ることもできた。

Webページからダウンロードし、編集して使うことができます。

<住生活>

やってみよう



家族が暮らしやすい、住まい方を考えよう。

○ある家族が下の図のような住まいに住んでいる。この家族の住空間の使い方を考えてみよう。

①私は、父・母・弟（小学生）と私の4人家族で暮らしています。今度、私の一家は新しい家に住むことになりました。どのように部屋を使ったらよいか、生活に必要な家具なども書き込みながら、考えてみよう。



《このように考えた理由》

- ・どの部屋を誰がどのように使うかを具体的に記入させる。
- ・空間の使い方に正解はないので、ここでは、生徒が根拠をもって考え、それが記述できたり、発表できたりすることを大切に考える。
- ・シールなどに私、父、母、弟などの記入をして貼るなど工夫する。

家族の住まい方についてモデル図やシールを用いながら、住空間の使い方を具体的に考えることができます。

自分が住んでいる地域の自然災害を調べさせたり、災害時に必要なものを確認したりしながら、自然災害への備えを考えさせることができます。

確認しよう



災害時に必要なものを確認しよう。

○災害時に必要なものを、シールを使って確認しよう。



用意してあるもの これから用意が必要なもの

〈避難する場所〉

- ・家から避難するとき
- ・学校から避難するとき

〈家族との連絡手段〉

例) 災害伝言ダイヤル

考えてみよう



災害時に自分（中学生）ができることを考えよう。

例) ・災害対策の工夫を考える・地域にあったらよいと思う住環境を考える

よりよい住生活を目指して、私たち（中学生）が実際にできることを考えられるように、配慮する。

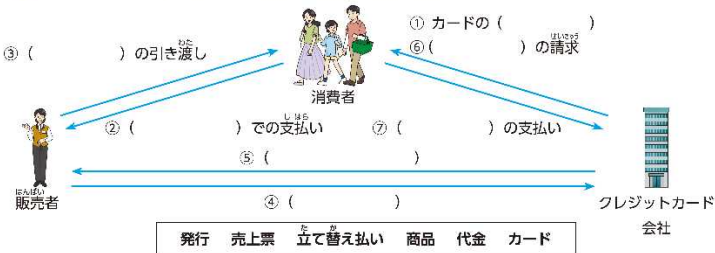
振り返り

C 消費生活・環境

確認しよう2



クレジットカード（三者間契約）の仕組みについて、空欄にあてはまる語句を語群から選んで記入しよう。



消費者の権利と責任について確認できるようにしました。また、持続可能な消費生活を目指し、SDGsの目標から自分にどんな取り組みができるかをまとめさせることができます。

リニューアル!!

時代の変化に合わせてクレジットカードによる三者間契約など消費生活に関わる学習を充実させました。

確認しよう



消費者の権利と責任について空欄にあてはまる語句を下の語群から選んで記入しよう。

(1) 8つの権利

(ア) 生活の基本的ニーズが保障される権利	(イ) 安全を求める権利	(ウ) 知らされる権利	(エ) 選択する権利
(オ) 意見が反映される権利	(カ) 補償を受ける権利	(キ) 消費者教育を受ける権利	(ク) 健全な環境を享受する権利
(コ) 主張し行動する責任	(サ) 連帯する責任	(シ) 環境へ配慮する責任	(ス) 社会的弱者に配慮する責任

社会的弱者 補償 選択する 消費者教育 批判的意識 環境
生活の基本的ニーズ 主張 健全な環境 意見 安全 連帯

やってみよう



SDGs目標12「つくる責任・つかう責任」について取り組んでみよう。

以下のターゲットを達成するために、わたしたちは何が出来るだろうか？ 具体的に考えてみよう。

ターゲット1

一人当たりの食料の廃棄を半減させる。

